令和８年１１月１８日
青森県平川市

平川市長が販路開拓と交流の継続・発展に向け、台湾を初訪問！

令和８年１１月１０日から１４日まで、工藤市長が就任後初めて台湾を訪問しました。

今回の訪問では、台湾の大手百貨店グループ「遠東百貨」で開催された「日本青森県弘前市文化物産フェア」に平川市も参加し、市産品のPRや販路開拓に取り組んだほか、これまで交流を重ねてきた台中市にある東海大学や台中市政府観光旅遊局を訪問し、今後の交流の継続・発展に向けた意見交換を行いました。

また、訪問先である３機関には、市内事業者の(株)長谷川鉄工の「BEAD EMOTION」の技法で製作した市章などを贈呈し、平川市のものづくり技術についても PR しました。

■遠東百貨で市産品を PR、台湾での販路開拓を目指す

１１月１１日から１３日までの３日間、遠東百貨で開催された「日本青森県弘前市文化物産フェア」に参加し、市産品の PR を行いました。遠東百貨からは、まだまだ青森県の魅力ある新商品を探しているとのお話がありました。

工藤市長は、「今回、販売には至らなかったものの、試食や試飲により遠東百貨のスタッフから好評を得た商品もありました。こうした反応を今後の販路開拓につなげ、来年も意欲的に平川市産品を台湾で販売していきたい。」と話していました。

■東海大学を訪問、青年海外交流事業のさらなる発展へ

１１月１１日、令和７年度から開始した「青年海外交流事業」の派遣先である台中市の東海大学を訪問し、張学長を表敬訪問しました。

今後の事業展開について意見交換を行い、東海大学が力を入れている AI の活用についても話題となりました。東海大学からは、今後 AI をテーマとした交流についても実現を目指していきたいとの考えが示されました。

■台中市政府観光旅遊局を訪問、交流協定１０周年に向けて意見交換

１１月１１日、青森県・平川市・台中市の３者で交流協定を締結している台中市政府観光旅遊局を訪問し、陳局長を表敬訪問しました。

工藤市長は、これまでの交流を振り返るとともに、来月に交流協定締結１０周年を迎えることから、令和９年度に記念イベントを開催していきたいことを伝えました。

また、令和９年１月に平川市と津軽みらい農業協同組合が「りんごのトップセールス」のため台湾を訪問する予定であることを伝え、今後は観光分野に加え、農産物を通じた交流にも取り組んでいきたいとの考えを伝えました。

今回の台湾訪問を通じて、平川市産品の販路開拓と、これまで築いてきた交流関係のさらなる発展に向けた一歩となりました。今後も台湾とのつながりを大切にしながら、経済・観光・農業など幅広い分野で交流を深めていきます。

今回の台湾訪問に関する写真提供も可能ですので、記事掲載に関しましてご配慮いただきますようよろしくお願いいたします。

この件に関する問合せ先
青森県平川市 経済部 商工観光課
担当：商工政策係　主事　葛西
電話：0172-55-5732（直通）
ＦＡＸ：0172-44-8619
E-mail：shoukoukankou@city.hirakawa.lg.jp